

23 飼料備蓄・増産流通合理化事業

令和8年度予算概算決定額 1,761百万円（前年度 1,760百万円）  
〔令和7年度補正予算額（所要額） 15,430百万円〕

＜対策のポイント＞

飼料生産基盤に立脚した持続的な畜産経営の推進に向けて、国産飼料の生産・利用拡大を図るため、**飼料生産組織の人材確保・育成、国産濃厚飼料の生産・利用の推進、生産性の高い持続可能な飼料産地の形成**の取組を支援します。また、飼料の安定供給を図るため、**飼料穀物の備蓄や飼料輸送の効率化の実証、配合飼料工場の事業再編**に向けた調査等の取組を支援します。

＜事業目標＞

- 飼料自給率：27%〔令和5年度〕→28%〔令和12年度まで〕
- 畜産農家への安定的な配合飼料の供給

＜事業の内容＞

1. 国産飼料増産対策事業

- ① 飼料生産組織の運営強化等支援  
オペレーター確保のための**募集活動**、**大型特殊免許**や**必要な技術資格の取得**、**人材育成のための研修**、**持続性を高める取組事例の調査**を支援します。
- ② 国産濃厚飼料生産の推進  
**子実用とうもろこし等**の国内生産・利用を推進するための**生産技術実証・普及等**の取組を支援します。
- ③ 生産性の高い持続可能な飼料産地形成促進  
都道府県を範囲とする**生産性の高い持続可能な飼料産地形成**に向けた生産・利用の連携体制の構築・強化に係る**検討会開催等**の取組を支援します。

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- ① 飼料穀物備蓄  
不測の事態に備えて、配合飼料製造業者等が自ら策定している事業継続計画（BCP）等に基づき実施する**飼料穀物・飼料作物種子の備蓄**、**緊急運搬**、**関係者間の連携体制の強化**や**輸入元国の多様化の検討等**の取組を支援します。
- ② 飼料流通・製造合理化  
**飼料輸送の効率化**に資する実証等の取組、**配合飼料工場の事業再編**に向けた調査等の取組を支援します。

国産飼料生産・利用拡大緊急対策

〔令和7年度補正予算〕（所要額）15,430百万円

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 国産飼料増産対策事業

① 飼料生産組織の運営強化等支援

人材確保・育成

- ・就職説明会への参加
- ・研修の実施
- ・免許取得 等

持続性を高める取組

- ・繁忙期の異なる産業と連携した人材の確保
- ・組織の持続性を高める取組事例の調査 等

飼料生産組織の運営強化による国産飼料の生産作業受託や生産・販売の拡大

② 国産濃厚飼料生産の推進

子実用とうもろこし

未利用資源

- ・子実用とうもろこし等の生産技術の実証・普及
- ・未利用資源等の利用技術の実証・普及

③ 生産性の高い持続可能な飼料産地形成促進

検討会の開催  
専門家の招聘  
先進地調査 等

持続可能な飼料産地形成に向けた生産・利用の連携体制の構築・強化を促進

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

① 飼料穀物備蓄

- 飼料穀物等の備蓄（定額、1/3、5/17以内）  
配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物等の備蓄の取組を支援
- 配合飼料の緊急運搬（定額、1/2以内）  
国内の災害時等に、配合飼料供給困難地域への緊急運搬を支援
- 関係者間の連携体制の強化や輸入の多様化の検討（定額）  
平時における関係者の連携体制の強化や輸入元国の多様化の検討等の取組を支援

② 飼料流通・製造合理化

- 飼料輸送の効率化実証（定額、1/2以内）  
センサーやタンク蓋開閉装置等を用いた飼料の在庫・配送管理等の効率化実証等の取組を支援
- 配合飼料工場の事業再編に向けた調査等の取組（定額）  
事業再編に向けた検討会の開催や調査、計画策定の取組を支援

大型ハリケーン等の不測の事態

備蓄支援

緊急運搬支援

関係者間の連携体制の強化

環境整備支援

IoT機器による在庫管理

モーダルシフト

事業再編に向けた調査

〔お問い合わせ先〕 （1の事業） 畜産局飼料課 （03-6744-7192）  
（2の事業） 飼料課 （03-3591-6745）